

## 『了徳寺大学研究紀要』執筆要領

1. 使用言語は問わない。ただし、日本語および標準的なアルファベット以外の文字を使用する場合は、事前に委員会に問い合わせること。
2. 原稿は B5 版を用い、全体で 20 枚前後とする。余白は上 20mm、左右 22mm、下 30mm とし、ページ数は記入しない。本文のフォントは日本語 MS 明朝、ローマ字 Times New Roman とし、サイズは 10 ポイント、設定は日本語であれば 36 文字× 35 行とする。他の言語もこれに準ずる。下記の順序で構成すること。
  - (1) 題目（本文の使用言語によること。この部分は 12 ポイントでセンタリングする。）
  - (2) 所属・氏名（所属は 8 ポイントにする。）
  - (3) キーワード（本文の使用言語により、研究対象・方法・論旨など論文の内容を端的に表す語句を 5 つ程度選ぶこと。）
  - (4) 本文（図表がある場合はそれを含む。）
  - (5) 註釈および文献表（本文の後にまとめる。脚注は使用しない。この部分は 9 ポイントにする。）
  - (6) 要旨（本文の使用言語とは別の言語が望ましい。題目も本文と別の使用言語で要旨の前に付記すること。日本語であれば 36 文字× 35 行以下。他の言語の場合もこれに準ずる。）
3. 上記の書式に従うことが困難な場合は、委員会に申し出て、その指示にしたがうこと。